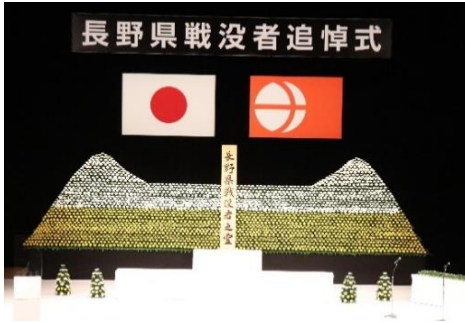


事業番号	05 04 03	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	戦没者等援護事業	部局	健康福祉部	課・室	地域福祉課
		実施期間	S25 ~	E-mail	chiiki-fukushi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり				

1 現状と課題

目指す姿	先の大戦における戦没者を追悼することにより、県民が平和の尊さを理解し、平和を祈念することに寄与する。戦後幾多の困難を乗り越えて祖国日本へ帰国した中国帰国者が、言葉や生活習慣の違いから孤立することなく、地域で安心して穏やかに暮らせるよう生活上の困りごと等に対し中国語による相談支援等を行う。	
これまでの取組	長野県戦没者追悼式、全国戦没者追悼式、沖縄「信濃の塔」慰霊・戦跡巡拝事業、中国帰国者支援相談、通訳等派遣事業、など。	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	戦没者遺族や中国帰国者の高齢化に対応した支援を実施していく必要がある。	戦没者追悼式は、県民すべてが戦没者に慰霊の誠を捧げ平和を祈念するための式典であり、今後も事業を実施していく。中国帰国者援護は、帰国者の置かれた特別な事情に鑑み、交流会や日本語教室の開催、通訳の派遣等ニーズに応じた支援を実施していく。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント ・ 主な取組(予定)	戦没者の慰霊 ・県民が戦没者の追悼と平和を祈念する事業の継続実施 ・長野県戦没者追悼式の実施、全国戦没者追悼式への代表遺族の派遣、沖縄「信濃の塔」慰霊・戦跡巡拝(主催:長野県遺族会)への補助等  中国帰国者の地域生活への支援 ・中国帰国者支援相談員を5名配置 ・日本語教室の開催、通訳の派遣等  中国帰国者の援護 ・元開拓団関係者である当時の事情に精通した者を身元未判明孤児肉親調査員として2名配置	
	DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組 <b>【共生社会づくり】</b> ・中国帰国者地域生活支援事業:関係機関との連携や、地域資源の発掘、創造を通じて、中国帰国者の支援を強化 <b>【学びの県づくり】</b> ・戦没者慰霊事業:沖縄「信濃の塔」や県内の戦争遺跡等を活用した平和学習を促進	

No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1								
2								
3								
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	前年度繰越			
予算額	当初予算	27,303	31,659	要求 27,983 予算案
	補正予算	-1,506	0	
	合計(A)	25,797	31,659	要求 27,983 予算案
うち一般財源		8,978	14,581	要求 10,660 予算案
	決算額(B)	20,054		
職員数(人)		2.02	2.02	2.02

設定理由	成果指標	
	目標値	

事業番号	05 04 03	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検	
事業名	戦没者等援護事業		部局	健康福祉部 課・室	地域福祉課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
1	戦没者慰霊事業	7,154 千円	11,900 千円	要求 予算案 8,174 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	長野県戦没者追悼式の実施	直接	本県出身戦没者を慰霊するため、遺族等の参列のもと、県主催にて追悼式を実施 遺族の参列者数については未定	
2	全国戦没者追悼式への代表遺族の派遣	直接	政府主催の全国戦没者追悼式に、本県代表遺族を派遣 派遣人数は未定	
3	沖縄「信濃の塔」慰霊戦跡巡拝への補助	補助金	沖縄「信濃の塔」慰霊・戦跡巡拝に係る費用の一部を補助 補助先(一般財団法人長野県遺族会)	
4	沖縄「信濃の塔」維持管理	委託	本県が所有する沖縄「信濃の塔」周辺を良好な状態での維持管理を実施 委託先(公益財団法人 沖縄平和祈念財団)	
5	慰霊巡拝事業	直接	政府主催の海外慰霊事業及び郡市主催の戦没者追悼式等に知事名で供花料を支出	
6	沖縄「信濃の塔」平和継承事業	直接	沖縄「信濃の塔」や県内の戦争遺跡等を活用した平和学習を促進	

事業名	戦没者等援護事業	部局	健康福祉部	課・室	地域福祉課
-----	----------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
2	中国帰国者地域生活支援事業	20,021 千円	19,669 千円	要求 19,719 予算案 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	中国帰国者支援相談員の配置	直接	帰国世帯の日常生活の相談・指導を行うため、中国語会話のできる相談員(5人)を配置し、支援を実施
2	日本語教育支援事業	委託	日本語学習の場を提供するため日本語教室を364回開催し、延べ1900人受講予定委託先(長野県日中友好協会)
3	通訳等派遣事業	直接	帰国者の生活相談に応じる自立指導員及び医療機関等で通訳を行う自立支援通訳を派遣
4	市町村担当者研修会	委託	中国帰国者への理解を深め、地域の状況に応じた支援を考える研修会の開催
5	給付金(日本語教室通所活動推進)	直接	日本語教室参加のための交通費を給付
6	スクーリング事業	委託	日本語の遠隔学習(通信教育)を補完するため、講師による対面授業を実施委託先(長野県日中友好協会)
7	中国帰国者支援交流会	委託	下伊那日本語交流サロン等を実施委託先(長野県日中友好協会)

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
3	中国帰国者援護事業	128 千円	90 千円	要求 90 予算案 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	身元未判明孤児肉親捜し調査事業	直接	県下を2ブロック(東北信、中南信)に分け、元開拓団関係者である当時の事情に精通した者を調査員として1名ずつ計2名配置